



豊島区が示した「イケバス運行ルート・停留所の位置」

大企業を最優先する  
イケバスのルート

地図は豊島区が示した「運行ルート・停留所の位置」です。南池袋公園、池袋公園、池袋西口公園、新設する造幣局跡地防災公園といった池袋駅周辺の狭い範囲だけを回遊します。中池袋公園は「地面が土だと靴が汚れる」という理由で税金4億円をかけて舗装し直し、旧庁舎・公会堂跡地を借り上げてオフィスビルをつくり劇場化した東京建物や、豊島区が池袋保健所を売却したアニメイトなど大企業のためのイベント公園となりました。

としても毎年4億円の赤字が見込まれます。池袋西口公園は世間の注目を集めるために、野外劇場公園として多額の税金を使った奇抜なリング状モニュメントをつくり、三菱地所が進めている西口再開発を後押しする話題づくりの公園となりました。

これら大企業と一体のプロジェクトには区民が納めた大切な税金と、財産である区有地が使われていきます。しかし区民の合意があるとは言えません。

区民の希望は  
コミュニティバス

今、区民が切実に望んでいるのは、区民の足となるコミュニティバスです。

10台も購入したイケバス1台はデザイン料込み3千万円超ですが、他区のコミバスは2500万円程度で安全で快適です。

これまでにイケバスには多額の税金が投入されていますが、これから運営経費がかさみ、事故が起こる前に廃止し、コミュニティバスの早期実現が重要と考えます。

国政では桜を見る会で安倍首相の私物化が問題となつていますが、高野区長の区民無視の税金の使い方も私物化に他ならず責任は重大です。



くらし何でも相談

お困りごとは、一人だけで、あるいは家族だけで悩まずに、何でもお気軽にご相談ください。

各分野の専門家、労働組合、弁護士等と連携して問題解決に向けてサポートいたします。

ご連絡お待ちしております。

恒例の餅つき大会

年末年始を迎え、各地で恒例の餅つき大会が行われています。

どの大会でも、つきたての美味しいお餅を求めて長い列ができています。子ども達にとっても日本の古き良き伝統文化を体感する貴重な機会です。

